

# 学校現場における業務の適正化の現状は

**質問** 9月の超過勤務は、中学校で平均月51時間、80時間以上は31人（全体の12%）、100時間以上は26人（同10%）と過酷な状況となっている。文部科学省は初めて6月に、教職員の長時間労働改善の通知を出した。その内容と学校現場への実効ある対応をどうするか。

**教育委員長** 県教委から通知があった4項目のうち、「部活動の軽減」では、申し合わせている毎月、第2・第4日曜日の休養日に加えて、新たに月曜日を休養日とする学校がある。「働き方の改善については」は時間外勤務調査をもとに、分析検討を行い今後の改善に役立てる。

**奥州市における食育は**

**質問** 市は平成22年度に第1次食育推進計画を策定し取り組んできた。その達成状況と課題、平成27年度に策定した第2次計画の重点を伺う。

**市長** 第1次計画では「健康的な身体維持」「地産地消の推進」を2本柱として、早寝・早起き・朝ごはんや毎月21日は朝食デイの普及や調理体験、生活習慣病予防教室に取り組んできた。第2次計画では朝食・バランスのとれた



たかはし まさひろ 政一 議員(市民クラブ)

食生活、減塩の推進に力を入れている。特に、当市の脳卒中死亡率は全国ワーストワンの岩手県の死亡率より高いことから改善に力を入れる。

**教育委員長** 学校では、食事の重要性や生産者への感謝の心を育むこと、地域の食文化の理解などを学級活動や給食時間の中で進めている。学校給食は、児童生徒の健全な発達のための「生きた教材」として活用しており、行事食や郷土食、バイキング給食、セレクト給食など関心を高める工夫をしている。

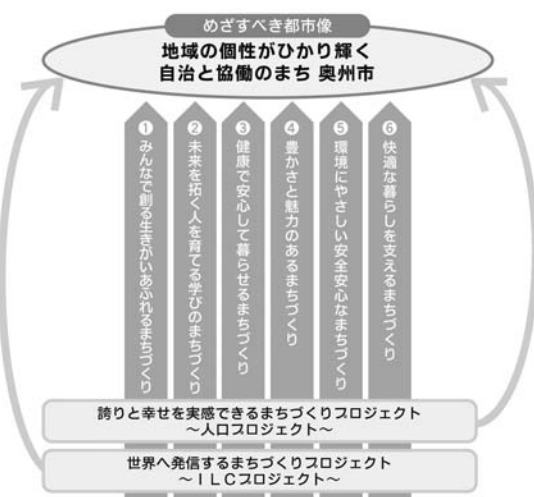


奥州市も食育に力を入れています

## 第2次奥州市総合計画の基本構想は

**質問** 第2次奥州市総合計画の基本構想・基本計画は現在骨子案が示され、総合計画審議会で検討中であるが、その内容と進捗状況は・実施計画・財政計画は早く示されないと意見要望はもとより議論が出来ない。できるだけ早く示してほしい。また、地域協議会の意見を聞くべきだが。

**市長** 総合計画は平成29年度から38年度までの10年間の計画で市の最上位に位置付けられる計画である。基本構想は奥州市の10年後の目指すべき都市像を「地域の個性がひかり輝く自治と協働のまち 奥州市」とし、2つの「戦略プロジェクト」「6つの施策」の大綱を定め、現在総合計画審議会で4つの分科会で検討していただいております。年内に素案をまとめたい。実施計画・財政計画は基本計画を受けての計画で



めざすべき都市像の実現イメージ図

あり、来年2月上旬に示せるよう努力したい。地域協議会は平成30年末まで存在するので基本構想・基本計画の骨子案を示して意見をいただいた。実施計画・財政計画も素案が固まり次第、説明し、意見、要望の把握に努めたい。



さとう いくお 郁夫 議員(市民クラブ)